



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広
報

わたむき

発行
印刷

第 51 号
綿向生産森林組合
日野町大字村井1352

第76回 通常総代会開催

6月25日(日)午後1時30分より 第76回通常総代会を
日野町林業センターで開催し、出席者 74名・議決書 88名
計 162名 の総代の皆さまにご出席を頂きました。



嶋村組合長開会挨拶

皆さんこんにちは。

※出席総代・ご来賓に日頃の御礼を述べる。

この通常総代会も、林業センターでご来賓の方々
にお越し頂く従来の形で4年ぶりに開催でき、
「やっと戻って来たか。」という思いです。

その組合も、1月の広報でも触れましたが、取得
していたSGEC森林管理認証が昨年11月に期限を
迎え、更新を致しました。

また、令和3年から進めてきました国のJ-クレ
ジット制度の認証も、1月の審査に合格し、二酸化
炭素吸収部門で販売認可を得ました。

それと平行し、滋賀県が推進する「びわ湖カーボ
ンクレジット」の創出部門へも登録致しました。

SDGsや地球温暖化が言われる中、県内の生産
森林組合の中では最大規模の面積を管理するこの組
合の責務として、適切な森林管理とカーボンニュ
ートラルを通じた温暖化防止への寄与。この2軸は必
要不可欠なものと考えております。

特にJ-クレジットにおいては、県が進める「びわ
湖カーボンクレジット」に登録することで、県内を
はじめ日野町内を中心とした販売で、地産地消を進
め、地元への貢献もめざしています。

カーボンニュートラルの目標が2050年というこ
とで、国や県、大手企業さまでは、取組みがすすめ
られつつありますが、一般的にはまだまだこれからと
いうところで、温暖化防止への対応やJ-クレジット、
びわ湖カーボンクレジットの認知や需要はまだ少し
先のように思われます。

森林認証とは申しますと、認証を受けている森林か
ら出される認証材も、建築用としての需要はどんど
ん増えるという状況にはまだ至っていないようです。

ただ、東京オリンピックの国立競技場建設には間
に合いませんでしたが、2025年開催の関西万博には
森林認証材として綿向生産森林組合の木材が使用さ
れることに、ささやかですが期待をしております。

御
挨拶

組
合
長
理
事

嶋
村

寿
雄

建築用以外では、紙の原料パルプの需要があり、
文房具の紙類、日用品、食品の包装箱などにFSC
のロゴマークを見かける機会が増えました。

また、コメリで販売されているコピー用紙のラベ
ルにPEFCのロゴマークが表示されていました。

アルファベットを並べた分かりづらいお話をしま
したが、少しでも説明致しますと、「SFC」「P
EFC」は国際的な森林認証です。私たちが取得し
ている「SGEC」は日本独自の森林認証です。た
だ、「PEFC」とは相互認証しており、「SGE
C」の森林認証を受ければ国際的な「PEFC」の
認証を受けた事になり、海外への輸出も可能です。

ご出席の皆さまも、「J-クレジット」や「びわ湖
カーボンクレジット」という言葉、そして「F
SC」や「PEFC」「SGEC」という森林認証の
ロゴマークに今後注目して頂ければと思います。

そのような状況ではありますが、綿向山をはじめ
先人から預かった1,000ヘクタール以上の山林と、緑
豊かな環境を健全な形で次世代に繋げ、価値ある組
合を作っていくため、組合員さまをはじめ、総代の
皆さまには今後とも変わりませずご支援ご協力を賜
りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日まで出席頂いております総
代の皆さま、任期が今月末までということで、この
通常総代会が最後のお仕事になるかと思ひます。3
年間お世話になり有り難うございました。

また、来期も引き続きお世話になる総代の方には、
3年間お世話になりますが、宜しくお願い致します。

以上、通常総代会にあたってのご挨拶とさせて頂
きます。本日はどうも有り難うございます。

※議事録より抜粋



総代会会場の様子

第76回通常総代会 提出議案

第1号議案

「令和4年度事業報告、貸借対照表
損益計算書及び剰余金処分案につ
いて」

※賛成多数により承認

第2号議案

「令和5年度事業計画の承認に
ついて」 ※賛成多数により承認



日野区 山本総代会長を
議長にスムーズに議事を
進行して頂きました。



第3号議案

「令和5年度加入金について」

第4号議案

「令和5年度余裕金の運用について」

第5号議案

「令和5年度役員報酬の決定について」
※第3号～第5号議案は一括提案 承認

第6号議案

「定款の一部改正について」
※3分の2以上の賛成により承認

今回の「総代会」でのご質問について

「第1号議案」

Q: 日野区総代 K氏

- 1) 「サントリー事業」とはどのようなものか？
- 2) 5,100万円の保険積立の内容は？。掛け捨てなのか？。
- 3) 特用林産物の利益があまり無いが、その内容は？。
- 4) ・剰余金の処分について、組合員への還元という考
えは、今後も無いのか？。また、そういう可能性
はあるのか？
・優良企業なら30～40%を配当するが、現金が無理
なら金券などの形はどうか？。
・配当用に積立ててもらったり、本当に貰えるのかと
不安になる。ご検討頂きたい。

A: 事務局

- 1) 蔵王・音羽地先約190haで「天然水の森 近江」
として、間伐・枝打を実施。経費の補助残をサント
リーから頂いている。
- 2) J A建物更正共済保険で、事務所など建物すべてに
加入している満期型の積立保険。
- 3) 従来の「椎茸ホダ木」販売を今回は「椎茸原木」の
販売とし、植菌体験をしてもらうことで高額では販売
できないと考えた。
- 4) 振込みの場合、口座管理など個人情報の問題もある。
収入になれば税務署の問題もあり、配当が難しい。
設立60周年には記念の物品を配付する予定。配当は
控えたい。
配当の場合、定款では10%以内となり、僅かな額。
金券を配っても町内では利用できる店舗に限られる。

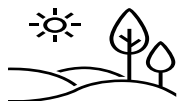
Q: 西大路区総代 O氏

- 1) 「販売」で主伐が数年行なわれていないが、厳しい
状況の中、販売は無理なのか？。
「間伐」と聞くと余材を伐っているイメージ。
用材として販売できているなら納得できる。



Q: 日野区総代 O氏

- 1) 最近「森林組合を抜きたい」という方が居るが、
引き留めるメリットはないのか？。



「第3号議案」

Q: 日野区総代 S氏

- 1) 加入について、「通常加入」と「分家加入」があり
ますが、他から移住してきた新しい住民の方も加入
できるのか？。

A: 事務局

- 1) 間伐補助金を申請する関係で、「間伐」として
取り組んでいるが、高齢級の本も伐採している。
主伐後の植林を目的とした伐採は行っていない。
「間伐」は細い木を伐るように思われがち。細い木は
チップに販売し、柱材となる木も出荷し販売しており
役に立たない木ばかりを伐っている訳ではない。

A: 事務局

- 1) 各自自治体でも高齢化が進み、繋がりが薄れてきている。
昔と形態が変わり、世代交代となれば組合員の意識も
薄れてきている。
「やめたい」と申出られた方には慰留をお願いするが、
最終的には拒むことができない。

A: 事務局

- 1) 元々組合員である家から分かれた方は「分家」となり
新たに参加される場合は、定款に「現物出資する個人」
とあります。今日までに加入された方はありません。

第76回 通常総代会 報告書

（概要）

○組合員数	1,448名	○出資口数	170,500口	○出資金	341,000千円
○保育事業	36.47ha	費用	1,497千円		
○付帯事業	間伐作業道他	費用	14,443千円	○総労務費	19,021千円
○販売事業	木材 1,650m3	売上	20,326千円	※作業道開設など 委託作業費含む	
	菌山（松茸山）	売上	100千円		
	林産物	売上	87千円		

（貸借対照表）※要旨

〈単位：円〉

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	359,064,553	流動負債	42,217,736
有形固定資産	609,386,655	固定負債	49,455,580
無形固定資産	119,467	負債合計	91,673,316
外部出資金	594,000	（資本の部）	
その他の固定資産	57,818,929	出資金	341,000,000
		剰余金	594,310,288
		資本（純資産）合計	935,310,288
資産合計	1,026,983,604	資産合計	1,026,983,604

（損益計算書）※要旨

〈単位：円〉

科 目	収 益	費 用	差引損益
事業総損益	20,512,954	12,370,169	8,142,785
事業管理費		48,104,730	48,104,730
事業損失			39,961,945
事業外損益	57,411,441	832,020	56,579,421
経常利益			16,617,476
特別損益	14,563,182	12,403,976	2,159,206
税引前当期純利益			18,776,682
法人税住民税及び事業税			4,162,500
当期剰余金			14,614,182
前期繰越剰余金			3,448,197
目的積立金取崩益			480,168
当期末処分剰余金			18,542,547

（令和4年度 剰余金処分別）※要旨

〈単位：円〉

適 用	内 容	小 計	合 計
I. 当期末処分剰余金			18,542,547
II. 剰余金処分別			
1. 法定準備金	当期剰余金の1/5以上	3,100,000	
2. 任意積立金		13,000,000	16,100,000
	うち 車輛購入目的積立金	(5,000,000)	
	うち 機械購入目的積立金	(2,000,000)	
	うち 建物等修繕目的積立金	(2,000,000)	
	うち 70周年記念事業積立金	(1,000,000)	
III. 次期繰越剰余金			2,442,547

上記決算書においては、ご承認を頂き有り難うございました。

また、ご承認を頂きました令和5年度事業計画においても、精一杯頑張っ参りますので、組合員皆様のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

西大路区

北畑 ○井戸 稔 井戸 英裕 岡 泰志 西田 繁 井戸 俊久 廣瀬 俊昭 牧野 雅一 水澤 透 竹内 良介 門坂 文夫	蔵王 ○野口 庄一 藤川 忠男 松尾 豊和 嶋村 栄司 仲上 隆司 古澤 弘 古澤 歳之 山本 禎之 市岡 博司 市岡 寛行	音羽 ○大杉 昭 岡 莊一 音羽 智之 大塚 幸男 仲上 仲次朗 久志 則行 山田 昌裕 井戸 康之 山田 雅史 長谷川 忠治 正木 伸一 森口 高志 音羽 克之 仲上 賢司	仁本木 ○木下 篤 池内 豊 池内 延夫 岡安 正人 田中 茂喜	西大路2区 ○吉川 幸男 依田 学嗣 廣嶋 貴明 竹村 豊 満田 久樹 飯室 恵啓	平子 ○太田 秀樹 太田 芳子 古澤 徹 熊野 ○瀧川 良久 堤 正治
			西大路1区 ○渡邊 季良 仲上 敦 徳井 勇 寺井 万理 竹村 健一 山本 郁男 吉澤 保	西大路3区 ○北浦 真也 岩本 信雄 内堀 義明 正木 巖 藤田 徹 池田 香 池内 幸一	

鎌掛区

1区 ○竹村 正司 福本 敏 瀬川 金栄 長 秀紀 勝本 正男 瀬川 善次	2区 ○野澤 満 植村 和也 増倉 実 竹村 善治	3区 ○熊捕 幹久 福本 修一 竹村 延治 藤澤 洋昌	4区 ○岡 明男 竹村 治 西岡 忠義	5区 ○岡 静男 篠村 和紀 岡 元 杉村 榮一 野崎 泰一	6区 ○竹村 治 竹村 憲 瀬川 浩樹 川池 直大
--	--	--	-------------------------------------	--	--

日野区

村井1区 ○門 賢輔 井上 清 増田 淳 野澤 優 水野 利美 植田 安夫 小川 弘 吉田 堯 根本 徹	村井2区 ○前田 英昭 西田 俊雄 小椋 啓一 井上 正博 村井 宏臣 吉川 保	村井3区 ○竹村 勝巳 徳田 明 森田 耕造 郷間 昭一郎 岡村 重男	松尾1区 ○高井 昇 安田 寛次 三田 勇次郎 石岡 美三雄 寺田 知義	松尾2区 ○麻原 耕造 中西 修身 増田 清一 瀬川 典 武田 康男 新海 義徳 頓宮 正也	松尾3区 ○市川 隆一 坂田 浩和 坂田 義治 大杉 恵一
上野田・いせの ○辻 英雄 山添 敏雄 加藤 一夫 西沢 傳夫 森 しづ子 阪元 久 野中 理伸 小川 清巳 野瀬 誠 中野 将雄 嶋村 喜一 森島 一男 大洞 まゆみ 池内 邦彦 本多 文雄	河原 ○木田 正男 深井 吉蔵 深井 茂男 杉原 祥文 大窪1区 ○伊豆嶋 伸一 日置 正美 森島 一雄 奥村 忠郎 森田 勇 木田 昇 増田 悟 中西 義晴 市田 和義 伊藤 喜夫	大窪2区 ○西村 正雄 立岡 芳和 島村 博史 中村 幸太郎 村井 弘幸 外池 隆也 小椋 和俊 奥村 正 竹村 育生 青山 修	大窪3区 ○大野 修弘 杉岡 進 上田 太 島田 浩一郎 松田 健治 奥村 和由 田中 壽枝 角田 育三郎	大窪4区 ○山本 博 小川 裕之 辰野 幹雄 正野 武司 西村 勝臣 野口 英紀 三日月 栄一 岡 比登志	大窪5区 ○外池 徹 市田 政和 西村 功司 和田 正浩 小窪 善和 治武 清 小林 雅史 木田 幹人 白塚 孝 安井 一彦 宮田 兼一 土田市 太郎 外池 清子 倉田 正和 田中 孝司 藪 博史 福田 敬一 川西 孝夫

○ = 地区代表さま

また敬称は略させて頂きました。

組合の動き

総代代表・役職員合同研修会

○ 令和5年2月7日(火)

総代代表10名様と役職員12名が原木市場の状況確認と木材加工の工場を見学しました。



マルタピア競りの状況(三重県伊賀市)



工場内の様子(奈良県桜井市)



西垣林業(株)さまには原木市場の他、加工工場内を見学させて頂き、剥皮から製材・乾燥までの工程を説明して頂きました。



首里城修復の柱材

「びわ湖カーボンクレジット」授与式

○ 令和5年3月16日(木)

県による「びわ湖カーボンクレジット登録制度」に登録し、その登録権授与式が公館で行なわれました。江島副知事の挨拶の後、登録事業者が紹介され、登録権の授与の後、創出事業者代表で、嶋村組合長がお礼の挨拶を行ないました。

※ 活用事業者 (株)日本旅行 他6事業者
創出事業者 綿向生産森林組合 他1事業者



この取組みは、県内で生み出されるJ-クレジットを創出する者および活用する者を登録する制度を定め創出および活用する取組みを広く周知し、取引きを支援することで、CO2排出削減活動やCO2排出量の「見える化」促進へ繋げることを目的とされています。



嶽まつり(大嵩神社御祭礼)

○ 令和5年4月20日(木)

恒例の「嶽まつり」が古式に則り行なわれ日野まつり関係者や一般登山者 約60名が登山し、頂上では大変賑わいました。



「緑の募金」表彰

○ 令和5年6月14日(水)

毎年続けている募金活動に対し、県緑化推進協議会様より表彰を受けました。



東洋アルミグループ森林保全活動

○ 令和5年7月8日(土)

昨年協定締結した東洋アルミグループ11名様が、勝手谷防護ネットの修繕作業を行ないました。保育作業の苦勞を少し感じて頂きました。





広報

わたむき



ホームページ

綿向生産森林組合

検索

■ 菌山入札(預け札)9月4日～9月8日組合事務所

アイデアを生む天才と凡人の紙一重な差

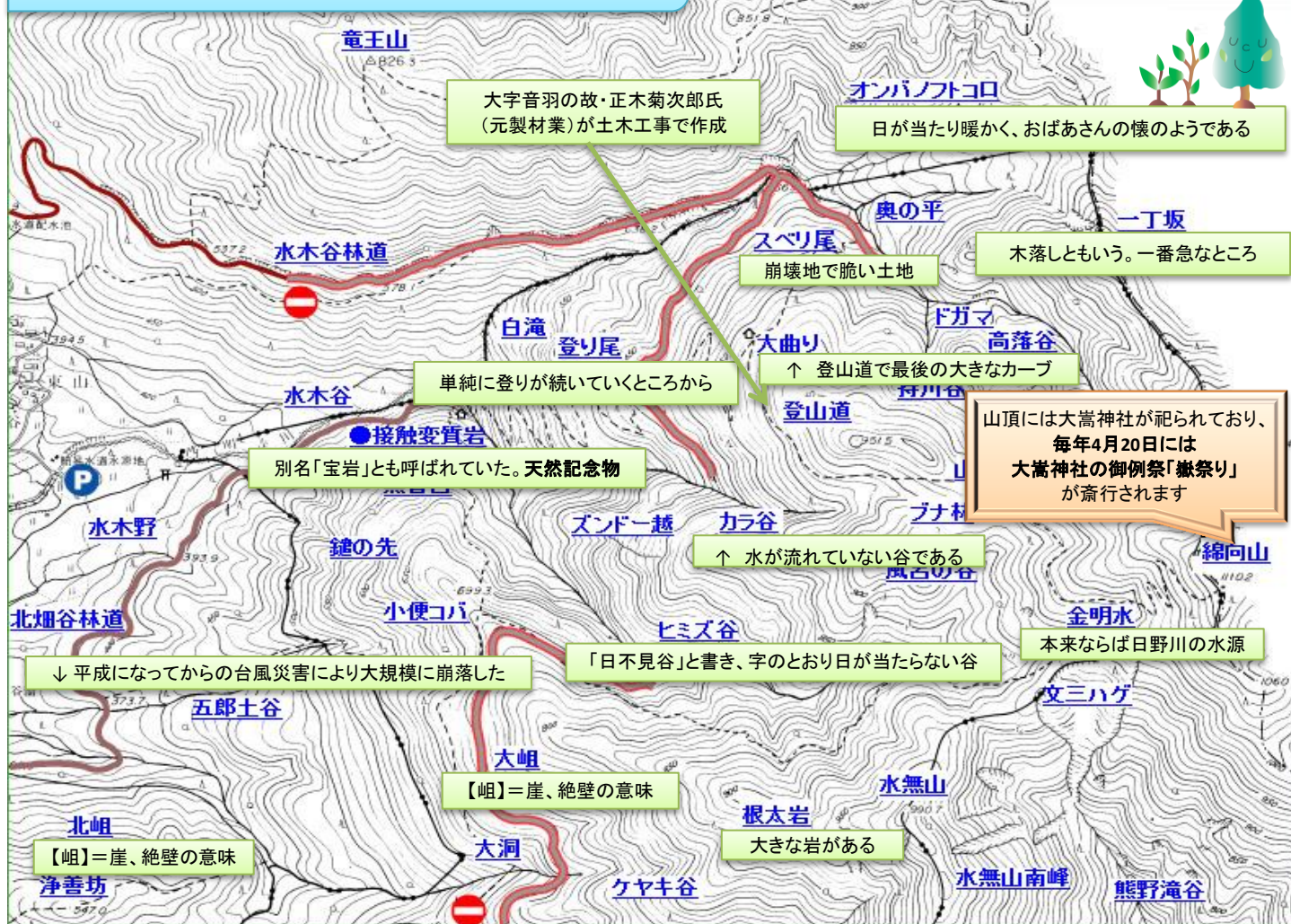
令和6年3月 組合設立60周年を迎えます

人間でいうと60歳は還暦。60年で干支(えと)が一回りして再び生まれた年の暦(こよみ)に還(かえ)るという意味で還暦と呼ばれています。還暦のお祝いでは赤いチャンチャンコなどを贈る風習があります。

綿向生産森林組合も令和6年3月に設立60周年。還暦を迎えるわけですが、組合員の皆様には日頃の感謝を込めて、何か“記念品”と準備中です。 ☆☆お楽しみに(*^_^*)☆☆

また、組合員の皆様の森林財産をより価値あるものにし、後世に繋いで行くためにも、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

綿向生産森林組合山林及び隣接する山林の固有名称(綿向山周辺)



(ネットから拾った記事です)
皆さんもアイデアの天才を目指してみませんか！

※「間違っている」「もっと詳しく知っている」という方教えてください。